

(別添資料3)

ボランティアバス・ツアー 安全運行 チェックリスト

● 旅行業者／バス会社を使う場合

□ 適切な旅行業者／バス会社を選びましたか？

安全な実施・運行を行うため適切な措置を行っている事業者を選びましょう。
(旅行業者の場合、観光庁や都道府県に正しく登録をしている旅行業者、バス会社の場合、日本バス協会に加盟するバス会社を利用する等)

□ 事業実施中の担当者連絡先を確認しましたか？

天候や現地状況の変化による計画変更がある場合に備え、事業実施中にいつでも担当者
と連絡が取れるようにしておきましょう。

□ 万が一に備え、特別補償規定が正しく適用できる契約を結びましたか？

旅行業者を使う場合、参加者が旅行契約を結ぶことで事故発生時に特別補償規定による
補償が受けられる様になります。正しく契約を結ぶようにしましょう。

● 自前の車両（自家用車やワゴン車、マイクロバス等）を使って移動する場合

□ ボランティアバス・ツアーで収受する料金の内訳を確認しましたか？

運送の対価として収受できる料金の範囲は、実際の運送に要したガソリン代、道路通行
料及び駐車場料金に限られます。

□ 使用する車両の運行前点検は実施しましたか？

可能な限り、整備工場などプロによる点検整備を受けておきましょう。

□ 自動車保険の内容を確認しましたか？

特に同乗者に対する補償を必要に応じて厚いプランに変更しておきましょう。

□ 安全に運転できる運転者を確保しましたか？

運転者は前日から飲酒を控えて十分な睡眠を取り、健康状態に注意しましょう。
また、帰路の運転者は活動時間と運転の間に十分な休憩時間を設けましょう。
必要に応じて複数名の運転者で交代しましょう。
(参考) あるバス会社では運転手ひとりの走行距離を 500km 以下、運転時間 9 時間以
内と規定しています。

□ 適切な休憩頻度と移動速度に基づいた運行計画を立てていますか？

ナビソフトなどで移動に必要な時間を確認し、無理の無い出発時間を決めましょう。運
転手・同乗者が十分に休息を取れるよう、休憩場所・時間を確保しましょう。

災害ボランティアバス・ツアーを主催するとは、参加する方々の命を預かるのだ、という気持ち
を忘れずに、被災者・被災地支援に取り組みましょう。